

2025年度 放課後等デイサービス
事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・ちびっ子ステーション
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日～令和7年12月25日
○保護者評価有効回答数	21
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日～令和6年12月25日
○従業者評価有効回答数	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待 されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人の発達段階や特性、興味、関心を把握し、それぞれに合わせた支援を行っている。	日々の子どもの様子や体調、気持ちの変化を指導員間で共有し、一人一人に合わせて変えかけや活動内容を工夫している。	個別支援計画の内容を指導員間で共有し、子どもの成長や変化に応じて支援方法を見直していく。
2	同じ敷地内にある同法人の学童との交流の機会があり、年齢の異なる子ども同士が関わるができる。	学童の子ども達と一緒に遊んだり、行事や活動と一緒に行って社会性やコミュニケーションの力を育めるよう支援している。	子ども一人一人の特性や発達段階に配慮しながら、無理なく交流できる機会を増やし、成長へと繋げていく。
3	子どもが安心して過ごせるように個別環境も加え、楽しく気持ち良く活動できるよう、子どもの気持ちに素早く気付いている。	子どもの気持ちを受け止め、喜怒哀楽全て共感できるように環境設定をする。季節の行事、製作、歌、遊びなどを取り入れている。	子どもが「やってみたい」と思える活動を増やし、できたことを実感して自身へと繋げる機会を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の 要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が 必要な点等
1	職員間での情報共有をさらに充実させる必要がある。	勤務時間や勤務日が異なる職員もいるため、全職員が同じ情報を共有する時間を十分に確保できない場合がある。	申し送りや記録を活用し、重要な情報を簡潔かつ確実に共有できる仕組みを整える。必要に応じてミーティング等で確認する。
2	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を、さらに充実させる必要がある。	子どもの発達段階や特性、興味・関心はそれぞれ異なるため、個々に合わせた支援方法を継続して検討する必要がある。	個別支援計画を職員全体で確認し、定期的に支援内容を振り返る。職員間で事例を共有し、より適切な支援方法を検討する。
3	保護者との情報共有や意見交換の機会をさらに充実させるために情報発信する場を作っていく。	送迎時などは時間が限られているため子ども達の様子が伝えられるインスタグラムやFacebookが不十分である。	連絡帳、電話、面談等を活用して保護者との情報共有を行う。今後、情報発信の機会を設けていく。